

■エリーニ・ユネスコ協会U'sの活動

International exchange

4月

6/2 こどもワークショップ
巨大壁画とお面作り あべのハルカス

5月

6/9 わたしのまちのQ&A
プレート制作 あべのハルカス

6月

6/10~7/31 ともだち展生野コリアンタウン展

7月

8月 大学生交流(平壌)

8月

9/11.12 ともだち展くまもと展

9月

9/15 ともだち展帝塚山学院泉ヶ丘展

10月

12/24 ワン・ワールド・フェスティバルfor Youth
ESDパスポート実践発表会報告

11月

12/24 晴明丘寺子屋教室
クリスマスコンサート

12月

12/29 ランドマーク作成神戸ワークショップ

1月

2/2.3 ワン・ワールド・フェスティバル
南北コリアと日本のともだち展東京展
東京・千代田3331

2月

3/8~10 南北コリアと日本のともだち展大阪展
11日:学校訪問

3月

3月 小・中学生交流(大阪)



2019.3/11 ユネスコ・スクール晴明丘小学校

異文化交流が重要と言われます。異文化とは大人が自分の中に引いている境界線の外にある文化のことです。子供達には、その境界線はありません。つまり、直接自分で経験したことが、すべてマイ文化になることを意味します。子どもがお互いを尊重して交流する姿を見て、早い段階からの国際交流がいかに意義あるものかを再確認できました。(樋浦忠司)

2018.4月~2019.3月

南北コリアと日本の
ともだち展ユネスコ・スクールの子どもたち
の“学び”の発信をサポート!

2018.6/2 ハルカス

2018年度は「わたしのまち、あなたのまち」をテーマに東アジアの子どもたちから個人作品の絵が募集され、ソウル、平壌、延吉の子どもたちとともに展示されました。子どもワークショップ「わたしのまちにおいてよ」ではソウルからの来阪された子どもたちと関西の子どもたちとの交流を深めました。



2019.3/9 大阪国際交流センター

エリーニ・ユネスコ協会主催



エリーニ・ユネスコ協会では、会員の樋浦忠司氏が講師となり、「縄文の不思議を探る」をテーマに特別講演会をエール学園をお借りして開催した。この会は、一般的な講演会でなく講師も含め、みんなで縄文時代の生活や文化などを語り合い、学び合おうというものである。初めての試みにも関わらず、五〇名以上の参加者があり盛況のうちに始めることが出来た。

講師の樋浦氏は、縄文時代の基礎知識を丁寧にわかりやすくお話ししてくださるとともに、講話の途中で話の内容について会場の皆様と意見交換するなど、参加者は本当に楽しく学ぶことが出来たと思う。

また、樋浦氏は、栃木県教育委員会と交渉し、益子町御靈前遺跡出土の火焔土器(本物)を、わざわざ栃木県まで出て博物館から借りてくださり、また、その博物館で再現された縄文時代のお菓子を

買つてきてくださるなど、実際に目で見、口でも味わうなど縄文文化を肌で感じることが出来る仕掛けをしてくださった。その結果より身近に縄文時代を感じることが出来印象的な講演会となつた。ちなみにお菓子は休憩時間においていた。ちなみにお菓子は休憩時間においていた。また、火焔土器は大変貴重な物であるが、直接手で触れてもよいとの博物館の許可があり、講演後、恐る恐る土器に触れる人その様子を写真に收める人々がめったにない貴重な体験に、参加者は少々興奮状態に陥っていた。

参加者アンケートによると「わかりやすい説明がよかったです。縄文時代の考え方がありましたが」「さらに縄文時代の勉強をしたいとの思いを持った」「本物に触れて感激した」「聞いて、見て、触って、食べてわかりやすかった」「次回も参加したい。期待している」等々、非常に好評であり、縄文時代をテーマとした学習会活動に大いに期待を抱かせるものであった。

昨年は東京国立博物館、パリの日本文化会館で縄文展が開催され、他に例を見ない世界に誇れる縄文文化は、近年、国内だけでなく世界の人びとが過去から引継ぎ、未来へと伝えていかなければならぬ人類共通の遺産とされている。

エリーニ・ユネスコ協会では、一人でも多くの人々に縄文文化に興味・関心を持つていただきことによって、その素晴らしさを未来へ繋げていけたらと考えている。そして、縄文時代を学び合う会を、今後も定期的に開催できればと考えている。(今堀順壽)

ユネスコ世界遺産とは、現在を生きる世界中の人が過去から引継ぎ、未来へと伝えていかなければならない重要な人類共通の遺産とされている。人々に縄文文化に興味・関心を持つていただきことによって、その素晴らしさを未来へ繋げていけたらと考えている。そして、縄文時代を学び合う会を、今後も定期的に開催できればと考えている。(今堀順壽)

人々から注目を浴びている。東京国立博物館で開催された展覧会は、NHKでも特別番組で放映され、一万余りの長期間にわたって続いた縄文時代に生きた、人々の豊かな感性と造形美、そして精神文化は、日本の美意識の原点を見ることができ、大きな感動を与えてくれた。



特別講演会

エール予備校

2019
1/26

「縄文の不思議を探る」を開催